

# ROバーナ

RO-30K RO-50K RO-100K RO-200K RO-400K RO-600K



## 1. 特長

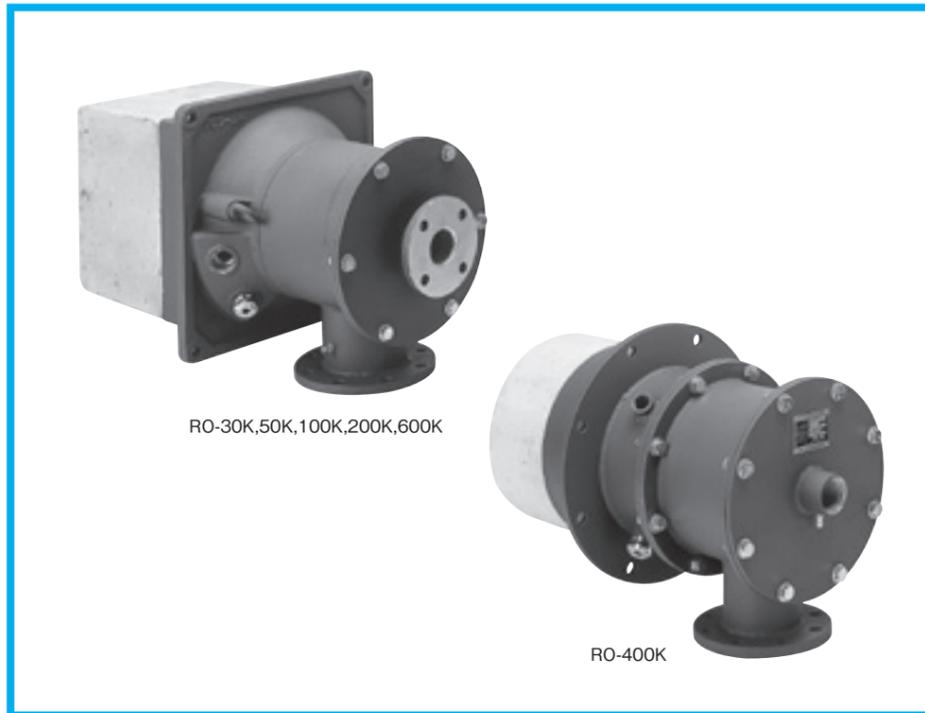
- ・空気比が0.7~1.0の範囲で運転可能。
- ・ターンダウンが大きい。  
(5:1以上)
- ・逆火の心配がなく、安全性が高い。  
バーナ構造は基本的には、ノズルミックス方式で、バーナトップ内に燃焼ガスと空気の混合部を有し、混合を良好にすることによって、燃焼排ガス中の残存酸素濃度をほとんどゼロにし、カーボンの析出も少ない。

## 2. おもな用途

- ・発熱型雰囲気ガス発生装置
- ・非鉄金属溶解、保持炉
- ・銅光輝焼鈍炉
- ・その他 (スケール炉等)

## 3. 取扱上の注意点

- ・バーナの取り付けは、横向き、あるいは上向きとする。
- ・空気比制御は均圧弁制御を標準とする。
- ・還元雰囲気用途で使う場合はパイロットバーナは時限方式とし、エアラインに電磁弁を設置すること。また、紫外線光電管の冷却エアを燃焼室に入れない構造の紫外線光電管アダプターを使用すること。
- ・理論空気比以下の燃焼では、可燃性ガスが発生するので、排ガスの取り扱いに注意すること。
- ・パイロットバーナはPLL (ローディング管付き) を使用すること。

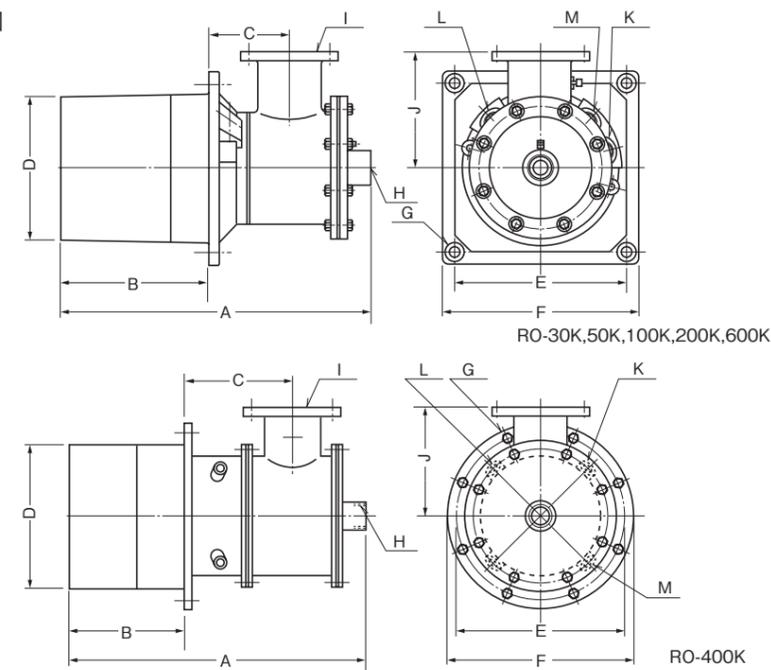


## ●仕様

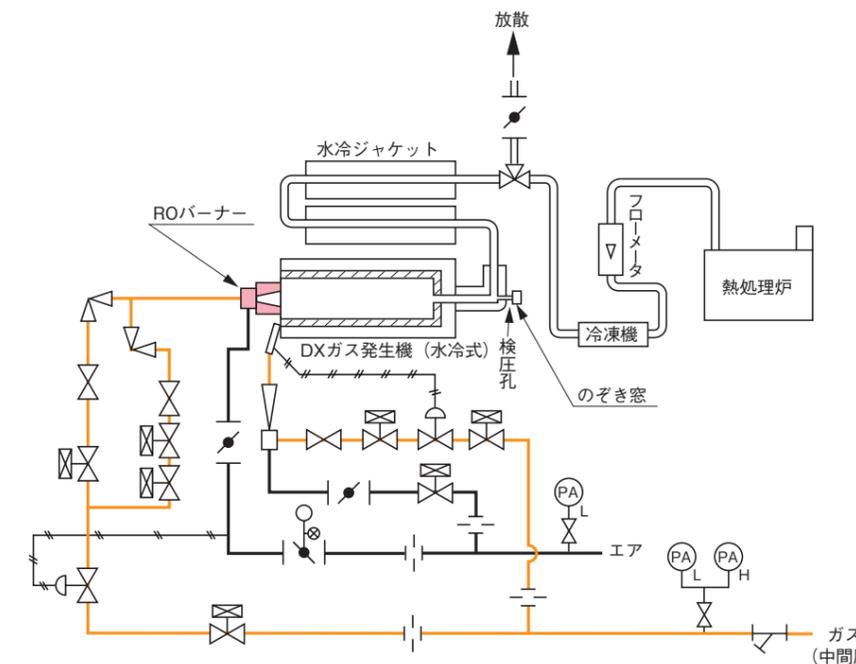
器種	RO-30K	RO-50K	RO-100K	RO-200K	RO-400K	RO-600K	備考
適用ガス	13A						
定格燃焼量 (kW)	30	51	103	203	406	620	低位発熱量
標準ガス量 (m³/h)	2.7	4.5	9.1	18	36	55	
標準エア量 (m³/h)	30	50	100	200	400	600	m=1.0
標準ガスヘッド圧 (kPa)	1.8	1.7	3.2	2.8	2.8	2.9	
標準エアヘッド圧 (kPa)	1.2	1.7	2.5	3.6	1.9	2.1	
外形寸法	A (mm)	279	279	354	547	611	772
	B (mm)	150	150	180	270	238	360
	C (mm)	63	63	93	151	223	216
	D (mm)	□115	□115	□180	□270	φ300 <sup>注2</sup>	□345
	E (mm)	□135	□135	□220	□310	P.C.D.350 <sup>注2</sup>	□385
取付寸法	F (mm)	□160	□160	□260	□350	φ390 <sup>注2</sup>	□425
	G (取付ボルト穴)	4-φ12	4-φ12	4-φ15	4-φ19	8-φ18	4-φ19
	H (ガス)	Rp1 <sup>1/2</sup> <sup>注1</sup>	Rp1 <sup>1/2</sup>	Rp1	Rp1 <sup>1/2</sup>	Rp1 <sup>1/2</sup>	50A JIS 10K フラジ
	I (エア)	R1	R1	R1 <sup>1/2</sup>	65A JIS 5K フラジ	100A JIS 5K フラジ	125A JIS 5K フラジ
接続径	J (mm)	100	100	150	180	225	240
	K (パイロット)	—	1/2	1/2	3/4	3/4	1 Rp
	L (炎監視)	3/4	3/4	3/4	1	3/4	1 Rp
	M (のぞき窓)	3/4	3/4	3/4	1	3/4	1 Rp
	重量 (kg)	10	10	30	75	90	130
ターンダウン	6:1	5:1	6:1	6:1	6:1	6:1	
点火方式	ダイレクト	パイロット PLL		パイロット PLL-10K		パイロット PLL-20K	パイロットは時限方式
炎検知方式	紫外線光電管						

(注) ※1 RO-30K ガス接続口は、バーナ中心軸に対して12mmの偏心となります。  
※2 RO-400K のみ製缶加工につき、丸フランジ、丸タイルになります。

## 外形図

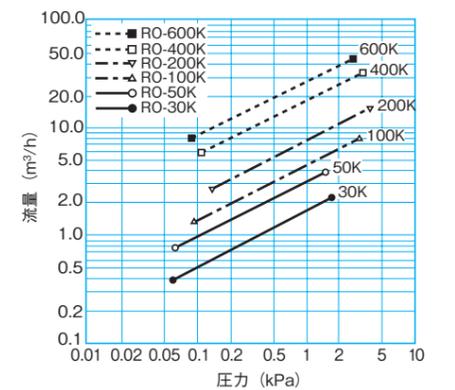


## ●フローシート (ROバーナを使用した発熱型雰囲気ガス発生装置)



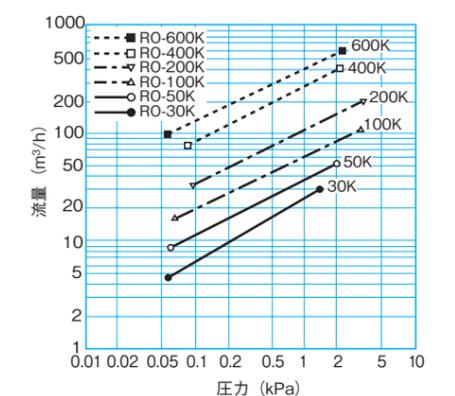
(データ1)

13Aガス流量とガスヘッド圧の関係 (m = 0.7~1.0)



(データ2)

エア流量とエアヘッド圧の関係 (m = 0.7~1.0)



(データ3)

可視炎長 (大気中: m=0.9)

